

平成 22 年度

事業計画書

財団法人 浜松国際交流協会

平成 22 年度事業計画

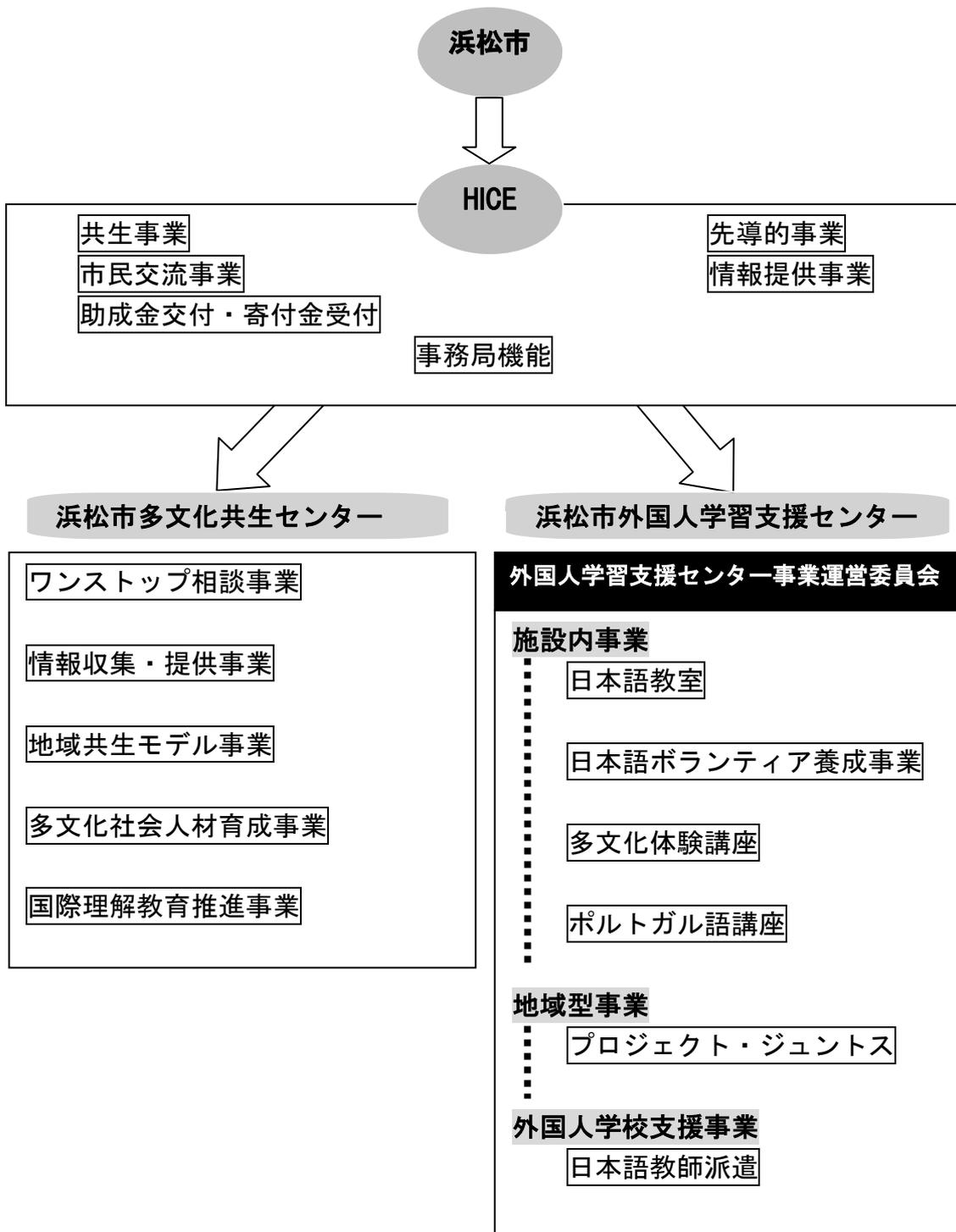
HICE の平成 22 年度事業の方針

一昨年度から続く不況の中、多文化共生の前提として欠かせない外国人住民の生活の安定のために、国をはじめ県や市においても様々な対策が取られてきた。今後、国は、より包括的に社会統合政策を打ち出し、自治体レベルにおいても様々な施策が行われていくことが求められる。

そのような中、浜松市では次々と新規事業に着手してきた。不就学の子どもや青少年の学び直しのための支援事業（プロジェクト・ジュントス）を昨年 8 月から開始、今年 1 月からは浜松市西区雄踏町に「浜松市外国人学習支援センター」を開設した。そして当協会は、そのセンターにおける事業運営を浜松市より受託して行っている。

平成 22 年度においては、その流れを踏襲し、「浜松市多文化共生センター」の管理運営及び「浜松市外国人学習支援センター」の事業運営を二本柱として取り組んでいく。そのため、「浜松市多文化共生センター」では、多言語による相談業務の充実、地域における共生社会づくりや国際理解教育の推進、人材育成を行う。一方、「浜松市外国人学習支援センター」においては、外国人の日本語学習支援等を全般に行う。とくに、日本語教室・日本語ボランティア養成事業・多文化体験講座・教員向けのポルトガル語講座の 4 つの柱を掲げている。また外国人の子ども支援を目的に、各地域で各支援団体が主体的に行う子ども向けの教室の運営を支援する。また、外国人学校に日本語教員を派遣するなどの支援を引き続き行う。いずれの事業も当該センターでは、市民協働という形で事業の推進を図り、当協会は中間的支援という立場で「新しい公共」の実現を目指す。

さらに、平成 22 年度は、公益法人制度改革に基づき、財団法人から公益法人へと組織変更を目指す。公益法人になることにより、税制上の優遇措置を得られることになる。また、それにともない、より厳しく事業の精査が必要となってくる。さらに、引き続き、自立した組織として経営基盤の強化が求められる。



事業内容

(新規事業★)

■浜松市委託事業

浜松市多文化共生センターの管理・運営（浜松市委託）	
ワンストップ相談事業 (4,801 千円)	各国語や各国文化に精通した相談員を配置し、生活相談を行う（対応言語／ポルトガル語、英語、スペイン語、中国語、タガログ語）。
情報収集・提供事業 (1,600 千円)	情報カウンターにおいて市民からの問い合わせに応えるとともに情報収集を行い、また、紙ベース及びインターネットにおいて情報の提供を行う。
地域共生モデル事業 (353 千円)	外国人集住地区において多文化共生の仕組み作りを地元住民とともに進行。
多文化社会人材育成事業 (336 千円)	外国人相談員や通訳などのスキルアップのためにソーシャルワーク研修を行うほか、相談員のネットワークを図り、多様化する外国人市民からの相談への対応の充実を図る。
国際理解教育推進事業 (48 千円)	浜松市 JICA デスクと連携をはかりながら、市内の小中高等学校及び社会教育の現場へ出前講座を行うほか、国際理解教育の普及活動をコーディネートする。

浜松市外国人学習支援センター事業（浜松市委託）★	
日本語教室 (7,510 千円)	在住外国人のための日本語教室。実践的なコミュニケーションの場として、様々なニーズに対応できる教室を HICE 日本語有志の会（NYK）と協働運営する。
日本語ボランティア養成講座 (3,419 千円)	在住外国人に対する日本語学習支援を行うボランティアを養成するための講座。社団法人日本語教育学会の協力のもと、浜松日本語ネットワーク等と連携する。
多文化体験講座 (1,980 千円)	日本人と外国人がそれぞれの文化体験を通して、異文化理解と交流を深める講座。雄踏町文化サークル団体や外国人コミュニティ等と連携を強化していく。
ポルトガル語講座 (1,090 千円)	市内幼稚園・保育園・小中学校等の教員を対象としたポルトガル語講座。ブラジル父母の会と企画運営を協働する。
プロジェクト・ジュントス (15,400 千円)	外国人コミュニティが主体的に各国出身の子弟に対する、学び直しや日本語、教科学習支援を行う。
外国人学校支援事業 (5,860 千円)	外国人学校へ日本語教員を派遣し、外国人学校との連携を強化していく。

その他浜松市からの委託事業	
----------------------	--

中国残留邦人支援事業 (1,166 千円)	中国語のできる支援相談員を市内の各区役所に配置し、相談を行う。
--------------------------	---------------------------------

■HICE 事業

1 共生事業		
分野	事業名	内容
相談事業	法律無料相談会 (55 千円)	静岡県弁護士会の協力のもと、弁護士による多言語通訳つきの相談会を実施。
国際理解教育	国際理解教育ファシリテーター養成	JICA 中部及び静岡県国際交流協会との共催で国際理解教育のセミナーを開催。

2 市民交流事業		
分野	事業名	内容
語学講座	英語で話してみよう会 (75 千円)	様々な国の人をゲストに招き、毎回テーマを決めて国際共通語である英語で会話を楽しみながらゲストの国を知り、交流を深める。
	国際理解のための英会話教室 (35 千円)	国際交流員の出身国の紹介など、特徴を活かした英語講座。
	国際交流のためのポルトガル語講座 (225 千円)	ブラジル人市民の多い浜松において需要の高いポルトガル語講座を開催。
	国際交流のための中国語講座 (87 千円)	ブラジル人に次いで多い中国人市民との交流をめざした中国語講座。
	国際交流のためのスペイン語講座 (86 千円)	根強い人気のあるスペイン語講座を開催。
	国際交流のための韓国語講座 (86 千円)	定番となった韓国文化を学ぶための韓国語講座。
	言葉を通して学ぶ初めての国 (83 千円)	ベトナム語を通してベトナムの国を学ぶ講座を開催。
交流イベント	ゆかたコンテスト (60 千円)	ゆかたコンテストの外国人の部について出場者募集、当日の運営について協力。
	西遠インターアクトクラブ (70 千円)	浜松ロータリー・インターアクト委員会から委託を受け、国際理解のための活動を開催。
ボランティア	ホームステイコーディネート (12 千円)	浜松市内で開催される国際的なイベントや会議において必要とされるホームステイを HICE ボランティアバンクを活用して行う。

	ボランティアバンクの運営 (40 千円)	ホームステイ、通訳・翻訳、情報提供など様々な分野でボランティア活用を行う。
	日本語ボランティア養成 (206 千円)	日本語を教えるボランティアの養成講座を静岡大学と共催で行う。

3 先導的事業

分野	事業名	内容
子ども支援	就学前外国人児童学校体験教室 (177 千円)	日本の小学校へ上がる外国人の子どもを対象に、学校体験教室を開催。大学生を指導ボランティアとして活用。
日本語環境整備	企業コーディネーター (60 千円)	日本語教室や外国語教室、国際理解教育などを企業において行うコーディネートを行う。

4 情報提供

分野	事業名	内容
情報の発信	機関紙 HICE NEWS の発行 (2,635 千円)	HICE の活動や国際交流に関する情報を提供する情報誌を発行 (日本語、ポルトガル語、英語)。
	CIR NEWS の配信	国際交流員 (C I R) による、国際理解のためのメールマガジン。英語と日本語の併記で会員対象に配信。
	ホームページ運営 (11 千円)	多言語情報ツールとしてのホームページ運用について検討する。
	情報コーナー (5 千円)	コミュニケーションボードやパンフレットスタンドの設置を行う。
	ラジオ番組支援	ポルトガル語・日本語のバイリンガル対応のラジオ番組作成・運営について支援する。
図書	図書コーナー (30 千円)	国際交流、多文化共生、国際協力、国際理解などのテーマに関する図書の収集と貸し出しを行う。

5 助成金

分野	事業名	内容
	HICE 助成金 (7,000 千円)	浜松市内で活動する国際交流関係団体等に対して行う助成金。